

* キキョウの育て方 * (参考)

年間カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花期												
植えつけ												
植え替え												
肥料(鉢植え)												
(庭植え)												
種まき												

置き場所

- ❖耐寒性が強いので、冬も戸外で大丈夫です。
- ❖鑑賞時は明るい室内に置き、日中はなるべく光が当たるようにします。

開花中の管理

- ❖開花時期は6～10月です。大きくなると倒れやすいので支柱を立てるか、茎を半ばで切ります。
- ❖切り口から、新たな茎が数本立ち上がり、より多くの

株の管理

- ❖秋に葉が黄ばんで地上部が枯れ始めたら地際で刈り込みます。
- 越冬後、根詰りしたら、老化した株は3～4月ごろに植え替えます。(秋でもよい)

水やり

- ❖鉢植えの場合は、表土が乾けばたっぷり水をあたえます。
- ※乾燥していない場合に水を与えすぎると、加湿の原因になり、根腐れを起こす場合があります。
- ただし、地上部の枯れている冬は乾燥に注意して下さい。

- ❖緩効性の化成肥料を、根に直接触れないように与えます。
- ❖花の咲く時期には液肥を2週間に1回あたえます。

肥料

病虫害

立枯病、茎腐（くきくされ）病

- ❖ 茎や根のつけ根が腐る病気です。主に夏場に発生します。
水はけ、風通しが悪いことによる加湿が原因のため、盛り土した上に植えなおすか、水はけのよい土に改良すると防ぐことができます。

アブラムシやセンチュウが発生する。

- ❖ アブラムシは薬剤で駆除するか、ガムテープ等で捕殺する。
- ❖ センチュウは目に見えず、根に寄生するため、生育が悪い時はセンチュウを疑ってください。
- ❖ キキョウの横に、マリーゴールドを植えると、マリーゴールドの根からセンチュウが嫌う成分が出るため、効果的です。

種まき



- ❖ 2月～3月ごろ行います。
- ❖ タネの表面が硬いので、水に一晩つけておきます。
植える時はタネが隠れる程度に覆土します。
- ❖ 土の表面が乾かないように、こまめに霧吹きをし、乾燥に注意します。
- ❖ 発芽したら、日当たりのよい場所におきましょう。

植え替え

- ❖ 本葉が2～3枚になったら、庭や植木鉢（5号鉢）に植え替えます。
- ❖ 弱酸性を好むため、苦土石灰等を入れる必要はありません。
- ❖ 鉢植えの場合、市販の培養土に酸性土である鹿沼土を混ぜましょう。赤玉土5・鹿沼土2・腐葉土3の配合がいいです。
- ❖ 乾燥しないように、鉢の上が乾いたら水やりをしましょう。



株分け

- ❖ 適期は地上部が枯れた秋以降です。
- ❖ 根を切らないように注意して古土を落とし、刃物を使って大きく2分割し、さらに2～3芽ずつに分けます。
- ❖ 芽が2cm程度隠れるように植えましょう。